

市公式キャラクター
『エーナ』

恵那市役所報道発表資料　　令和８年９月 18 日

所　管	教育委員会事務局文化課		
担　当	堀	問い合わせ	0573-26-2153
所　管	中山道広重美術館		
担　当	常包	問い合わせ	0573-20-0522

報　道　機　関　　各位

秋季特別企画展「生誕 200 年記念　二代広重―広重イズムの在処（ありか）―」の開催について

特別企画展を下記の通り開催します。広く周知いただくとともに、ぜひ取材くださいますようお願いします。

記

１．会　期　　令和８年 10 月１日（木曜日）～12 月６日（日曜日）
前期：10 月１日（木曜日）～11 月３日（火曜日・祝日）
後期：11 月７日（土曜日）～12 月６日（日曜日）
開館時間：午前９時半～午後５時（入館は午後４時半まで）
休館日：毎週月曜日（ただし 10 月 12 日、11 月 23 日はのぞく）、10 月 13 日（火曜日）、11 月 24 日（火曜日）、展示替え期間（11 月４日（水曜日）から６日（金曜日））

２．場　所　　中山道広重美術館　展示室１、２

３．料　金　　一般 820 円（20 人以上の団体は 660 円）

４．内　容　　初代歌川広重の没後、その名跡は五代目まで受け継がれました。最初の継承者である「二代広重」こと歌川重宣は、師・初代広重の署名書体や画風を忠実に踏襲しつつ、幕末・明治の世相を反映した新たな画題や独自の表現に挑んだ浮世絵師です。初代を彷彿とさせる風景描写や叙情性から、「〇〇の広重」と称される画家も現れました。

二代広重の生誕 200 年を記念する本展では、襲名後初の大規模シリーズ「諸国名所百景」（65 点）と初代広重による「六十余州名所図会」（42 点）の比較展示を通して、その魅力を再発見します。さらに、「明治の広重」こと小林清親や「昭和の広重」こと川瀬巴水の作品も紹介し、「広重」と呼ばれた絵師・画家の表現に息づく広重イズム――「広重らしさ」「広重っぽさ」の正体を探ります。

５．主　催　　恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館

６．協　力　　メ～テレ（名古屋テレビ放送）、名古屋市博物館

７．主な出品作品



（左から）
初代歌川広重「六十余州名所図会　信濃　更科田毎月　鏡台山」［前期出品］当館蔵（吉村コレクション）
初代歌川広重「六十余州名所図会　阿波　鳴門の風波」［前期出品］当館蔵（田中コレクション）
二代歌川広重「諸国名所百景　尾州　名古屋　真景」［前期出品］当館蔵
二代歌川広重「諸国名所百景　日光　霧降の滝」［後期出品］当館蔵

８．関連イベント
（１）学芸員による作品ガイド
日　時：10 月４日（日曜日）、11 月 15 日（日曜日）
各日午前 10 時半から 40 分程度
場　所：展示室１、２（１、２階）
（２）美術館ボランティア幽遊会による概要説明
日　時：随時（要事前予約）

Information

Museum Shop News ミュージアムショップからのお知らせ

新・オリジナルグッズのご紹介

秋季特別企画展「二代広重 ―広重イズムの在処（ありか）」に合わせ、美術館オリジナルポストカードに二代歌川広重「諸国名所百景」シリーズから、「日光 霧降の滝」と「周防 岩国 錦帯橋」の２図が加わりました。師・歌川広重の画風を継承したと言われている二代広重のポストカードを、展覧会観覧の記念にぜひお手に取ってみて下さい。

さらにオリジナルグッズとして消しゴムも発売します。消しゴムケースには歌川広重の「木曽海道六拾九次之内」や「名所江戸百景」などのシリーズの図があしらわれています。

また、昨年度新規収蔵作品から歌川広重の短冊絵「(月に松上の木莵)」をデザインしたクリアブックマーカーも制作しました。お求めやすく実用性もある商品ばかりですので、ご来館の際はぜひミュージアムショップにお立ち寄りください。

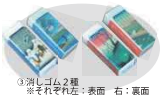
NEW!



①二代広重ポストカード２種



②クリアブックマーカー



③消しゴム２種
※それぞれ左：表面　右：裏面

中山道広重美術館オリジナルグッズ
①二代広重ポストカード 各 165 円
②クリアブックマーカー 120 円
③消しゴム2種 各 150 円
（すべて税込）

連続講座について 2026/9－12

「浮世絵インパクト ―江戸から現代へ―」

江戸時代に誕生した浮世絵版画は明治末期に衰退した一方で、海を渡りジャポニスムの火付け役となりました。また、高度な木版技術は大正・昭和の新版画へと発展し、現代にも継承されています。本連続講座では、「広重」の系譜に注目しながら、江戸から現代における浮世絵の受容・継承・発展の変遷をたどります。

講座日程・内容

秋季特別企画展

第４回　９月12日（土）
川瀬巴水が描いた旅 ―広重との風景くらべ―
小山 周子（東京都江戸東京博物館学芸員）

第５回　10月17日（土）
ジャポニスム世界を魅了した北斎と広重
田辺 昌子（元千葉市美術館副館長・国際浮世絵学会常任理事）

第６回　11月21日（土）
印刷のルーツ木版画、明治創業の版元の仕事
山田 博隆（美術書出版株式会社芸艸堂代表取締役社長）

※日程・内容等を変更する場合は、当館ホームページでお知らせいたします。

▲単独受講の当日席（若干数）は、１回500円（観覧料別）。事前予約不可、先着順。

●時間：各回 午後１時30分～３時30分（予定）
●場所：中山道広重美術館講座室（3F）

展覧会案内 2026/12－2027/3

■企画展 超定番！浮世絵東海道おすすめスポット

12月10日（木）～ 2027年２月23日（火・祝）



歌川広重「東海道五十三次之内 白須賀 汐見坂風景」

歌川広重による通称「行書版東海道」を中心に、現代にも通ずる旅人必見のおすすめスポットを巡ります。



■企画展 浮世絵花らんまん

2月27日（土）～３月28日（日）



歌川広重「富士三十六景 武蔵越かや在」

来たる春にふさわしい華やかな作品を展示すると共に、江戸っ子たちに親しまれた草花をご紹介します。





中山道広重美術館
〒509-7201
岐阜県恵那市大井町 176-1
TEL (0573)20-0522
FAX (0573)25-0322
https://hiroshige-ena.jp
＊JR 中央線恵那駅から直進徒歩約５分
＊中央自動車道恵那インターから約５分

公式ホームページ
hiroshige_ena
ウェブショップ
hiroshige_ena_museum
#nakasendohiroshigemuseumofart

（公財）中山道広重美術館ミュージアムニュース2026年秋号　2026年9月発行

Autumn Special Exhibition Commemorating the 200th Anniversary of His Birth

Hiroshige II: Where Hiroshige-ism Lives

秋季特別企画展 生誕200年記念

二代広重 広重イズムの在処（ありか）





2026
10.1（木）－12.6（日）

【前期】10.1（木）－11.3（火・祝）
【後期】11.7（土）－12.6（日）
※前後期全点展示替え

Period 1: 1 October – 3 November
Period 2: 7 November – 6 December

知られざる「広重」。

【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】
○毎週水曜日は観覧無料、フリーフエンズデー
（スポンサー）（株）エナ重機、ナカヤマ・グループ、（株）デジタ
●毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー
（スポンサー）（株）館の森コーポレーション、
（株）サラダコスモ ちこり村

知られざる「広重」。

Autumn Special Exhibition
Commemorating the 200th Anniversary of His Birth **Hiroshige II: Where Hiroshige-ism Lives**
Period 1: 1 October – 3 November　Period 2: 7 November – 6 December

秋季特別企画展 生誕200年記念

二代歌川広重 広重イズムの在処（ありか）

2026
10.1（木）–12.6（日）

【前期】10.1（木）－11.3（火・祝）
【後期】11.7（土）－12.6（日）　※前後期全点展示替え

「広重」と呼ばれた絵師や画家が複数いたことをご存知ですか？

初代歌川広重の没後、その名跡は五代目まで受け継がれました。最初の継承者である「二代広重」こと歌川重宣は、師・初代広重の署名書体や画風を忠実に踏襲しつつ、幕末・明治の世相を反映した新たな画題や独自の表現に挑んだ浮世絵師です。一方、初代を彷彿とさせる風景描写や叙情性から、「○○の広重」と称される画家も現れました。

二代広重の生誕200年を記念する本展では、襲名後初の大規模シリーズ「諸国名所百景」と初代広重による「六十余州名所図会」の比較展示を通して、その魅力を再発見します。さらに、「明治の広重」こと小林清親や「昭和の広重」こと川瀬巴水の作品も紹介し、「広重」と呼ばれた絵師・画家の表現に息づく広重イズム――「広重らしさ」「広重っぽさ」の正体を探ります。

本展で紹介する「広重」

- **初代歌川広重** 寛政９～安政５年（1797–1858）
- **歌川重宣：二代広重** 文政９～明治２年（1826–69）
- **歌川重政：三代広重** 天保13～明治27年（1842–94）
- **小林清親：明治の広重** 弘化４～大正４年（1847–1915）
- **川瀬巴水：昭和の広重** 明治16～昭和32年（1883–1957）

見どころ① 初代広重の後継者・二代広重に注目

文政９年（1826）に生まれた二代広重は、10代半ばで初代広重に入門し、弘化年間（1844–48）頃から「重宣」の号で画業をスタートしました。そして、師の没後、安政６年（1859）に「広重」を襲名。師の署名書体や画風を忠実に踏襲し、「広重」への需要に応えた一方で、幕末から明治にかけての激動の世相を反映し、師とは異なる画題や表現にも取り組みました。本展では、偉大な師の影に隠れがちだった二代広重の魅力をご紹介します。



①



②



③

見どころ② 初代広重と二代広重の諸国名所絵を比較

二代広重の代表作である「諸国名所百景」は、襲名後に発表した初の大規模シリーズです。「名所江戸百景」の版元・魚屋栄吉によって企画された後継的作品であり、新たな「広重」の門出を広く世に印象付けました。本展では、二代広重による「諸国名所百景」65点と、初代広重が50代後半の円熟期に手掛けた「六十余州名所図会」42点の比較を通して、両者の類似点や相違点を検証します。

◆ 初代広重「六十余州名所図会」 ◆　◆ 二代広重「諸国名所百景」 ◆



④



⑤



⑥



⑦

見どころ③ 「広重イズム」の正体に迫る

「広重っぽい」「広重らしい」と感じられる表現――いわば「広重イズム」は、必ずしも初代広重の画業全体に共通する特徴ではありません。むしろ、広く知られる代表作を通して形成された「広重イメージ」に基づくものと考えられます。本展では、二代広重、小林清親、川瀬巴水の作品に見られる「広重イズム」の在処を探るとともに、後世における「広重イメージ」を掘り下げることで、初代広重の表現を見つめ直します。

初代広重　二代広重　小林清親　川瀬巴水



⑧



⑨



⑩



⑪

観覧料　一般820円（20名以上の団体は660円）
▲18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方１名は無料。
開館時間　9:30 ～ 17:00（入館は16:30まで）
休館日　毎週月曜日（ただし10.12、11.23は除く）、10.13（火）、11.24（火）、11.4（水）～６（金）
主　催　恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館
協　力　メ～テレ（名古屋テレビ放送）、名古屋市博物館

［関連事業］
●学芸員による作品ガイド
日　時：前期10.4（日）後期11.15（日）各日午前10時30分～（40分程度）
場　所：展示室1、2（1、2F）
●美術館ボランティア幽遊会による概要説明
日　時：随時（要事前予約）

（主な出品作品）
①歌川重宣（二代広重）「大井川かち渡」［後期出品］メ～テレ（名古屋テレビ放送）蔵　②二代歌川広重「諸国名所百景　尾州　名古屋　真景」［前期出品］当館蔵
③二代歌川広重「横浜売物図会之内」［前期出品］メ～テレ（名古屋テレビ放送）蔵　④初代歌川広重「六十余州名所図会　信濃　更科田毎月　観月山」［前期出品］当館蔵
⑤初代歌川広重「六十余州名所図会　阿波　鳴門の風波」［前期出品］当館蔵　⑥二代歌川広重「諸国名所百景　周防　岩国　錦帯橋」［前期出品］当館蔵
⑦二代歌川広重「諸国名所百景　日光　霧降の滝」［後期出品］当館蔵　⑧初代歌川広重「六十余州名所図会　肥前　長崎　稲佐山」［後期出品］当館蔵
⑨二代歌川広重「諸国名所百景　信州　木曽の雪」［前期出品］当館蔵
⑩小林清親「武蔵百景之内　亀井戸天満宮」［後期出品］メ～テレ（名古屋テレビ放送）蔵
⑪川瀬巴水「（新日本八景）　木曽川（犬山）」［前期出品］当館蔵